

えんだより

2023年

3月号



NO.204

シャローム三育保育園

今年に入って1月に感染性胃腸炎、2月にはインフルエンザも流行しました。まさに暗中模索の状況ではありますが、必ず平穏な日々が来ることを信じ、保育園としてこれまでの対策を継続しながら、状況に合わせて対応していきたいと思えます。

それぞれに進級、進学を控え、中には新しい環境での生活が決まった方もおられると思います。期待と不安が入り混じる中ではありますが、希望を持って新生活を迎えることができるように、何かお手伝いできることがありましたら遠慮なくお声掛けください。

園長 村上 渉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。

【お知らせ】

次の日程でルクミーの写真撮影を予定しております。

3月7日(火)午前中(体操・給食)⇒幼児 ・ 10(金)午前中⇒乳児(縦割り保育)



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 避難訓練 (引き渡し訓練)	2	3	4
5	6 礼拝 英語教室(3.4.5歳児)	7 体操教室	8 誕生会	9	10	11 新入園 説明会
12	13 礼拝 お別れ会	14	15	16 卒園式	17	18 布団乾燥
19	20 礼拝 英語教室(2.3.4歳児) 卒園遠足(5歳児)	21 春分の日	22	23 	24	25
26	27 礼拝 英語教室(2.3.4歳児)	28	29	30	31 進級式 保育園職員会議	

「エール」

「エール」には“声援”“掛け声”“大きな声”という意味があります。スポーツ観戦やコンサートなど、声援を送る事でストレス発散にも繋がります。明日への英気を養うという方もいるでしょう。この新型コロナの影響で一時的には無観客試合やイベントでの声出しNGなどの対応が取られていましたが、徐々に以前の姿に戻りつつある事は嬉しい事ですね。大きな声で声援する事や歌を歌う事は自律神経のバランスを整える作用がある事が分かっています。但し、時間や場所、大声の内容によってはご近所迷惑や通報される事にもなりかねますのでご注意ください。

スポーツの応援で良く聞かれる「フレーフレー〇〇」。先日、某TV局の番組「〇〇ちゃんに〇〇れる」を観ていたところ、「応援団のフレーフレーの意味は？」という問題が出されていました。これについては、時代は明治に遡り、当時早稲田大学の野球部がアメリカ遠征で目にした応援方法「カレッジエール」を日本に持ち帰った事で日本中に広がったそうです。このカレッジエールで使われていた言葉の「hooray や hurray」という言葉から「フレーフレー」の掛け声になりました。

この「hooray や hurray」には日本という「万歳」の意味があります。選手たちの士気を高め、試合の動向に一喜一憂し、そしてお互いの健闘を称える。まさに応援にはもってこいの言葉ですね。

4月からはそれぞれに新しい生活が始まります。子どもたちの健やかな成長とご家族の皆さまが健康で幸せに過ごすことができるよう、心を込めてエールを送ります。「フレーフレー子どもたち!」「フレーフレーお母さん!」「フレーフレーお父さん!」「フレーフレー家族!」「フレーフレー保育園!」

園長

